



生まれ変わった校舎でほのぼのの芸能祭

11月23日(祝)、あけぼのアート&コミュニティセンター(南11西9)で「曙ほのぼのの芸能祭」(同実行委員会主催・笹川信雄委員長)が行われ、地域住民などたくさんの市民が参加しました。

今年で5回目を迎えた同芸能祭は、平成16年3月に閉校した曙小学校校舎を活用した同センターのオープニングセレモニーに合わせて開催され、セレモニーでは、上田文雄札幌市長から施設の管理運営団体に鍵が贈呈されました。

この日は、フラダンス、合唱など日ごろの活動の成果が披露されたほか、野点やバザーなどのコーナーもあり、参加者は楽しい一日を過ごしました。

▶「管理運営をよろしく」



▶懐かしい曙小学校校歌の合唱



◀気分は南国、フラダンス



◀野点もありました

熱戦！インドア雪合戦

12月6日(日)、中央体育館(大通東5)において、中央区体育指導委員会(桐生明会長)主催による「インドア雪合戦」が行われ、小学生低学年の部5チーム32人・高学年の部5チーム34人が参加しました。

どのチームも、一人ひとりの役割をしっかりと決め、固いチームワークで熱戦を繰り広げていました。また、一生懸命頑張る選手たちに観客席から大きな声援が送られていました。



▲今がチャンス！

▲作戦会議は真剣そのもの！

歩いてポカポカ 電飾キラキラ

▶「きれいだね」



◀目指すはさっぽろテレビ塔

12月10日(木)、中央区主催の「イルミネーションウォーキング」が開催され、区民約90人が参加しました。

この日のコースは、中央保健センター(南3西11)からさっぽろテレビ塔(大通西1)までの約2キロ。

寒さに備え、手袋や帽子を身に着けた参加者は、色とりどりに輝くイルミネーションを眺めながら、ウォーキングを楽しんでいました。